



令和7年度 SAITAMA社会貢献賞

和光紙器株式会社





和光紙器株式会社



代表者名	代表取締役 本橋 志郎
設立	1962年12月
所在地	川口市幸町1丁目9番17号
主な事業内容	包装資材の設計及び加工販売等
従業員数	85人



和光紙器株式会社の社会貢献活動



📦 循環型包装資材の開発、資源循環ネットワーク構築

自社および地域の同業で発生する発泡緩衝材の端材・ロス材を受け入れ、再資源化をすすめ、地域の廃棄プラスチックを抑制し環境負荷低減と循環型社会の実現を共に進めています。

👤 SDGs・CSR従業員勉強会の開催

地域・社会への貢献を従業員それぞれが考え、行動につながる継続的な勉強会で身近な課題に気づいた改善や提案は、資源循環や環境に配慮した製品の開発や防災グッズの開発、そして地域交流など多様な取り組みに活かされました。

工場見学の案内や地域イベントでの環境講話、職場体験の受け入れ、工作教室など地域全体でSDGs推進の機運が高まり、企業活動と社会貢献が自然に結びつく仕組みを形成しています。



和光紙器 岩槻事業所
ミラクルワーク
最終日

2025

旗帜 災害時用段ボールベッド等の開発・提供

廃棄プラスチックを再資源化した、軽量で強度のある「ポリエコレン」を使用した担架や段ボールを利用したベッド・トイレなどを開発・提供しています。これらは組立が容易で、災害時の避難所や臨時施設での生活環境改善に活用できます。これらを活用し自治体や防災関連団体と連携することにより、地域の課題解決に貢献しています。



和光紙器株式会社の社会貢献活動



▢ 子供向け体験型学習・出前講座等の実施

地域の子ども達に、工作教室や出前授業を通じアイデアを形にしていく楽しさやリサイクル・防災について学ぶ場を提供しています。活動を通じ社員が試行錯誤しながら地域や次世代への貢献を深めています。



▢ 特別支援学校大宮ろう学園への支援活動

新型コロナの蔓延時に「生徒・教員専用フェイスシールド」を提供した縁から、学校の困りごとに対し「私たちができること」で解決するお手伝いを行うようになりました。2021年からは大宮ろう学園の学校評議員を引き受けました。評議会を通じ「教室内で椅子を引く際の音」に困っていることを知るに至り、不要となったテニスボールを寄贈しました。このような地域の力になれるような活動を積極的に行ってています。



今後に向けて

子供たちが「資源」や「温暖化の環境」で将来困らないように、との思いから「サーキュラーエコノミー」の取り組みを重視し、無駄を生まないものづくりを追求しています。社会貢献活動においても同じ考え方のもと、地域で私たちができる事を考え継続していきます。子供たちの見学の受け入れや、地域のイベントなど企業活動

動の中で子供たちと接することにより、一人ひとりが「子供たちの未来」を真剣に考え、本業の中で取り組む「環境を考え資源を有効活用し、無駄を生まないものづくり」の意味をより深く理解できるよう努めています。これからも「私たちのできること」を考えて子供たち・地域のためにサステナブルな活動を積極的に行っていきたいと思います。